

豊山町第5次総合計画の効果検証のための 町民意識調査結果報告書【令和6年度】 (概要版)

1. 調査概要

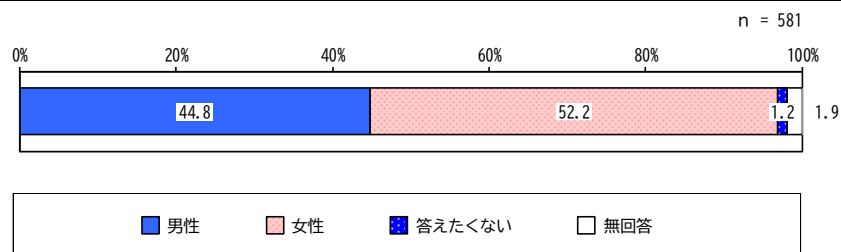
調査目的	豊山町第5次総合計画の策定後、広く町民からの意見や要望を聞き取り、事業の推進に活用することを目的として実施。
調査対象	豊山町内在住の16歳以上の2,000人
調査期間	令和6年11月1日(金)から令和6年11月18日(月)まで
調査方法	郵送配付・郵送回収及びインターネット回答
回収状況	配付数2,000票／有効回収数 581票／有効回収率 29.1% (参考)郵送回答 429件(73.8%)／WEB回答152件(26.2%)



2. 回答者属性

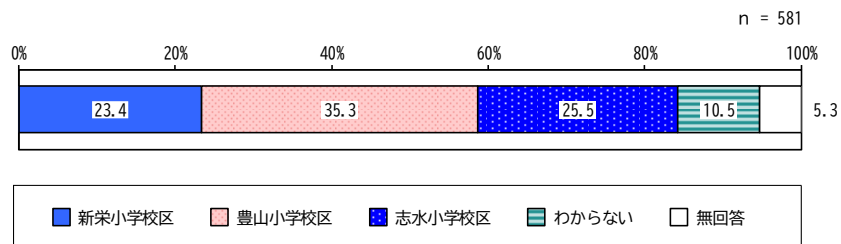
1. 性別

性別では、「女性」が 7.4 ポイント高くなっています。



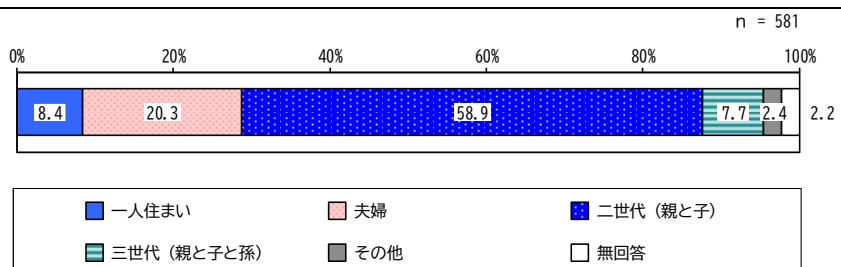
3. 居住地区

「豊山小学校区」が 35.3%と最も高く、「志水小学校区」が 25.5%、「新栄小学校区」が 23.4%となっています。



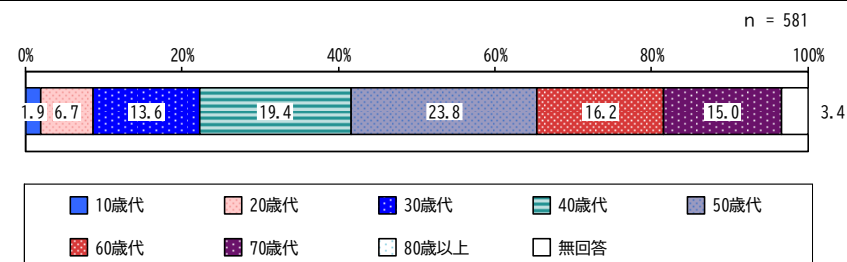
5. 家族構成

「二世代(親と子)」が最も高く 58.9%と半数を占めています。次いで、「夫婦」が 20.3%、「一人住まい」が 8.4%、「三世代(親と子と孫)」が 7.7%となっています。



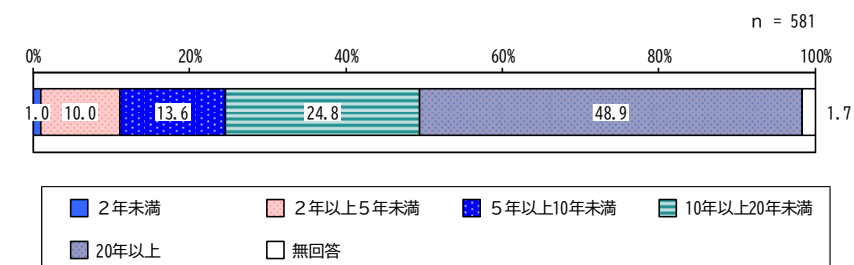
2. 年齢

「50 歳代」が 23.8%と最も高くなっています。



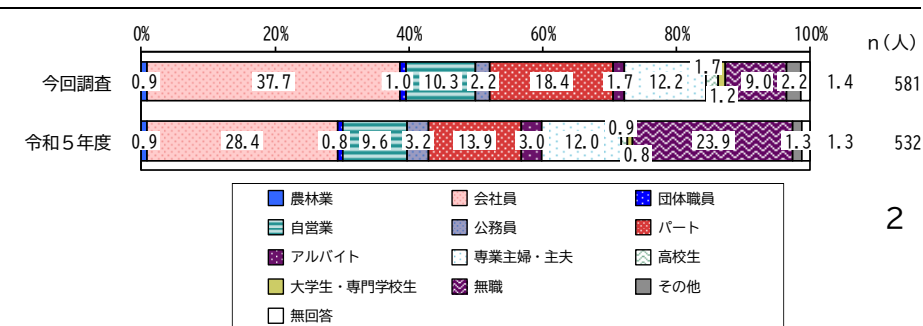
4. 居住年数

「20 年以上」が 48.9%で、約半数を占めています。



6. 職業

「会社員」が最も高く 37.7%、次いで、「パート」が 18.4%、「専業主婦・主夫」が 12.2%、「自営業」が 10.3%となっています。



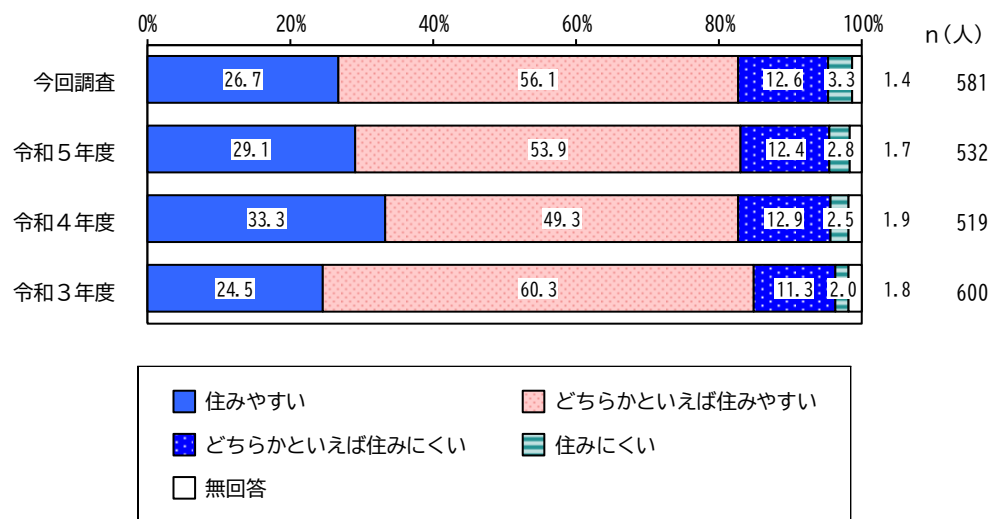
3. 主な設問別結果

(1) 豊山町の住みやすさや印象について

1. 豊山町は住みやすいか

問 豊山町を住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

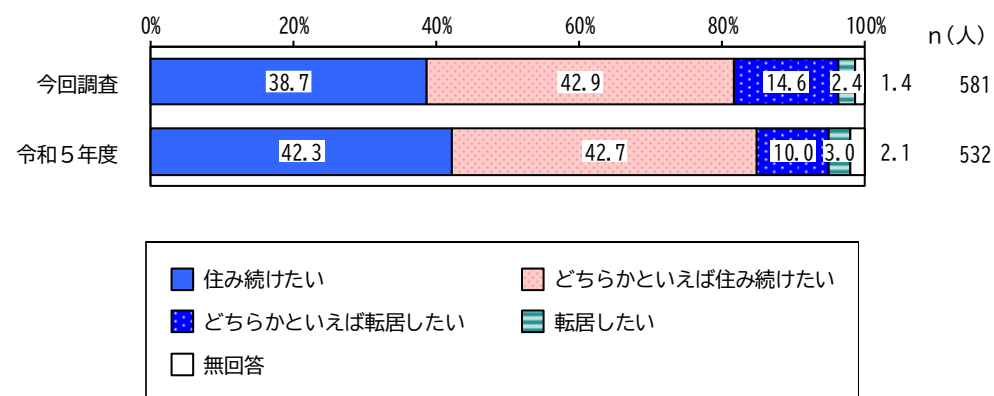
- 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」をあわせた“住みやすい”の割合は 82.8%となっています。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」をあわせた“住みにくい”の割合は 15.9%となっています。
- 前年度と比較すると、“住みやすい”の割合は横ばいとなっています。
- 性別にみると、“住みやすい”の割合は、「男性」が 83.9%なのに対し、「女性」が 82.9%となっており、女性が 1.0 ポイント低くなっています。



2. これからも豊山町に住み続けたいか

問 これからも豊山町に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- 「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”の割合は 81.6%となっています。また、「転居したい」「どちらかといえば転居したい」をあわせた“転居したい”の割合は、17.0%となっています。
- “住み続けたい”の割合は 3.4 ポイント減少しています。
- 性別にみると、“住み続けたい”の割合は、「男性」が 82.4%なのに対し、「女性」が 81.2%となっており、女性が 1.2 ポイント低くなっています。

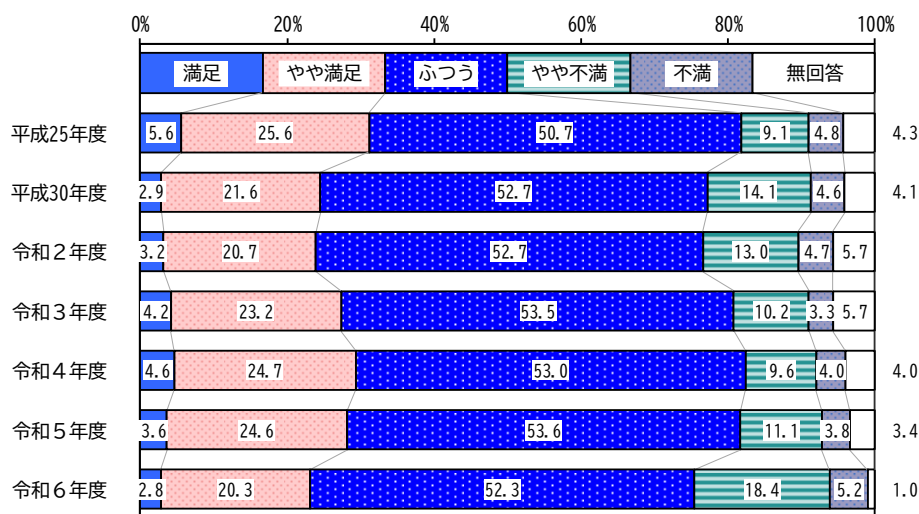


(2)まちづくりに対する評価と期待

1. 豊山町の取組に対する全体的な評価

問 全体的にみて、これまで町の取り組みに満足していますか。

- 「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 23.1%(前年比-5.1 ポイント)、「ふつう」の割合が 52.3%(前年比-1.3 ポイント)、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が 23.6%(前年比+8.7 ポイント)となっています。
- 経年でみると、“満足”は、平成 30 年度から令和 4 年度にかけては、微増していましたが、令和5年度から今回調査にかけては、微減となっています。



2. 各施策に対する満足度・重要度

問 各施策に対する現在の満足度・今後に向けた重要度

1. 満足度の高い取組内容(上位 10)

順位	取組内容	満足度
1	ごみの減量化、リサイクル活動	31.8%
2	国道・県道などの幹線道路の整備推進	26.6%
3	下水道の整備	23.0%
4	空港を中心とした景観資源を活かすまちづくり	22.7%
5	成人、母子の健康づくり	22.7%
6	良好な住環境の維持増進	21.4%
7	公園・緑地の整備	20.2%
8	放課後児童の居場所づくりや子育て支援サービスの充実	19.8%
9	地域医療体制の充実	19.5%
10	生活道路の整備	19.3%

2. 不満足度の高い取組内容(上位 10)

順位	取組内容	不満足度
1	とよまタウンバスなどの公共交通の充実、利用促進	44.9%
2	歩行者・自動車専用空間の整備	41.5%
3	特色ある施設や交通体系などを活かした土地利用の促進	36.4%
4	生活道路の整備	30.3%
5	子どもから高齢者までの世代に応じた居場所や遊び場の充実	29.1%
6	公園・緑地の整備	27.0%
7	騒音、害虫などの生活型公害対策の充実	25.8%
8	産業観光の推進、観光資源の魅力向上	24.4%
9	地域の防犯意識の高揚	22.2%
10	犯罪を起こさせない環境づくり	21.9%

3. 重要度の高い取組内容(上位10)

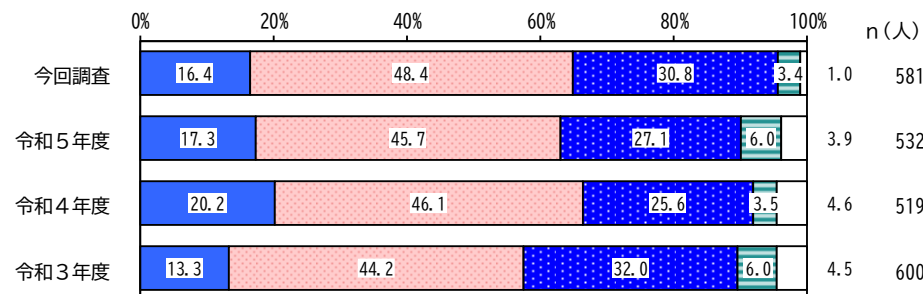
順位	取組内容	重要度
1	とよまタウンバスなどの公共交通の充実、利用促進	57.1%
2	犯罪を起こさせない環境づくり	56.3%
3	地域の防犯意識の高揚	54.6%
4	交通安全意識の高揚、環境の整備	52.3%
5	地域医療体制の充実	49.7%
6	歩行者・自動車専用空間の整備	48.7%
7	生活道路の整備	48.0%
8	ごみの減量化、リサイクル活動	47.5%
9	子どもから高齢者までの世代に応じた居場所や遊び場の充実	47.5%
10	良好な住環境の維持増進	46.8%

(3) 町民が主役のまちづくりについて

問 町政や身近な地域活動等への関わりについてお尋ねします。(各項目に○は1つだけ)

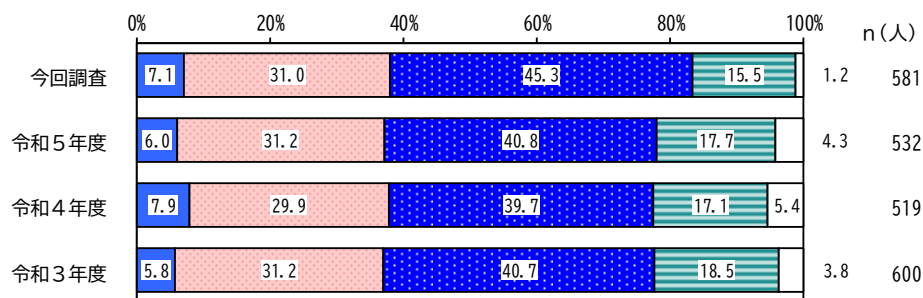
①豊山町の町政(まちづくり)に関心がある

- 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合は、64.8%となっています。
- 経年でみると、“そう思う”の割合は、令和5年度(前年度)より 1.8 ポイント増加しています。
- 年代別にみると、“そう思う”の割合は、「60 歳代」が 75.5%と最も高くなっています。他方で、「10 歳代」が 54.6%と低くなっています。



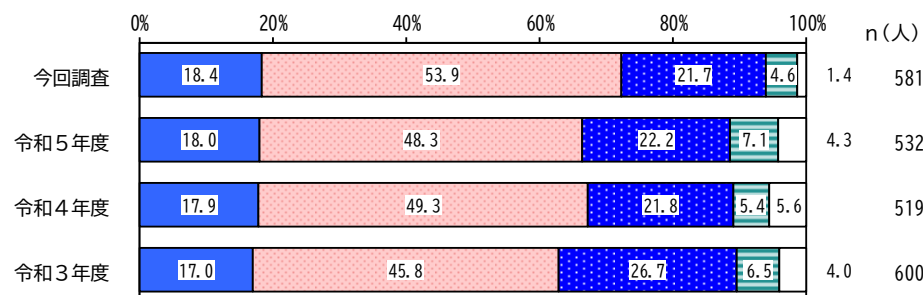
②まちづくり活動、地域活動、ボランティア活動などに参加したい

- 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合は 38.1%となっています。
- 性別にみると、“そう思う”の割合は、「男性」が 37.3%なのに対し、「女性」が 39.6%となっており、「女性」が「男性」より 2.3 ポイント高くなっています。



③これからのまちづくりには、もっと町民が主役となったり、町政にも積極的に関わることが必要だ

- 「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合は、72.3%となっています。
- 性別にみると、“そう思う”の割合は、「男性」が 71.6%なのに対し、「女性」が 73.9%となっており、「女性」が「男性」より 2.3 ポイント高くなっています。



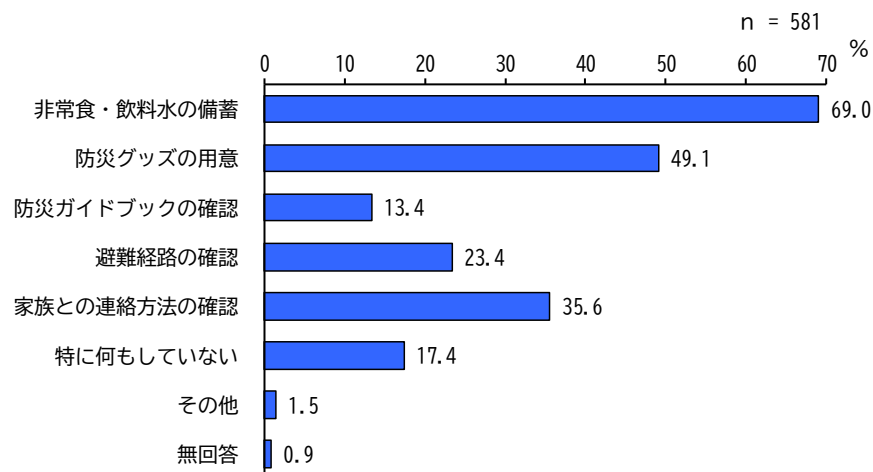
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない
■ そう思わない □ 無回答

(4)個別のまちづくり課題について

1. 防災意識について

問 令和6年1月の能登半島地震、8月の南海トラフ地震臨時情報があってから、災害対策としてどのような準備をしていますか。
(あてはまるものすべてに○印)

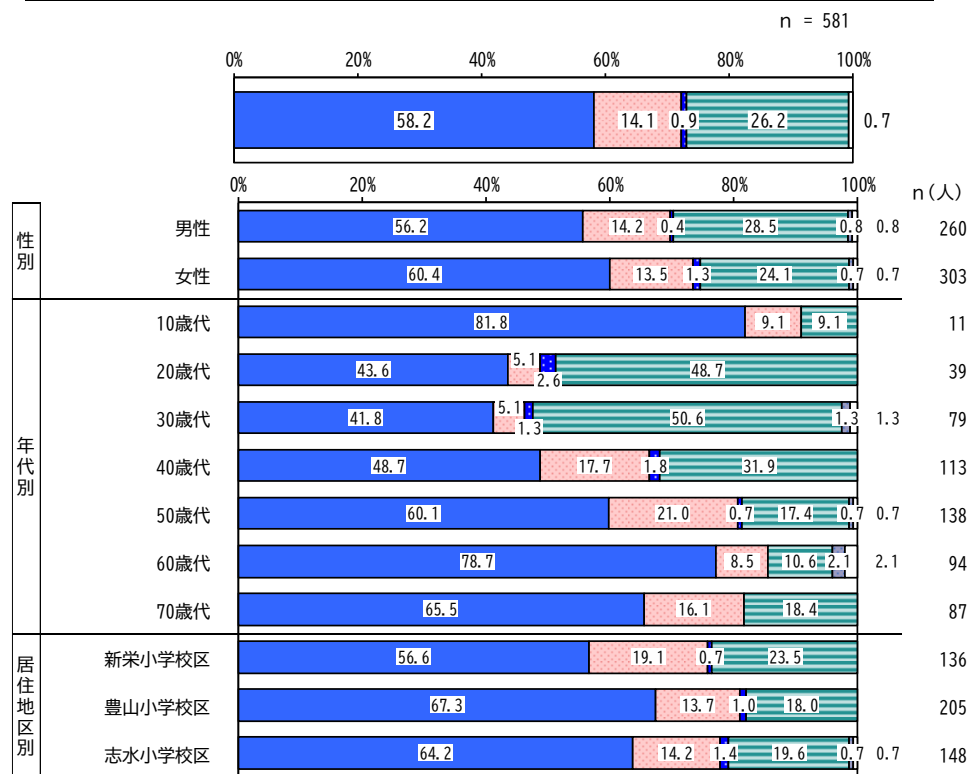
- 「非常食・飲料水の備蓄」が最も高く 69.0%、次いで、「防災グッズの用意」が 49.1%、「家族との連絡方法の確認」が 35.6%、「避難経路の確認」が 23.4%となっています。
- また、「特に何もしていない」が 17.4%、「防災ガイドブックの確認」が 13.4%と低くなっています。



2-1.自治会について

問 自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- 「加入している」が最も高く 58.2%、「加入していない」が 26.2%、「以前は加入していたが脱会した」が 14.1%となっています。
- 年代別にみると、「50 歳代」「70 歳代」では6割台、「20 歳代」「30 歳代」「40 歳代」では4割台となっています。

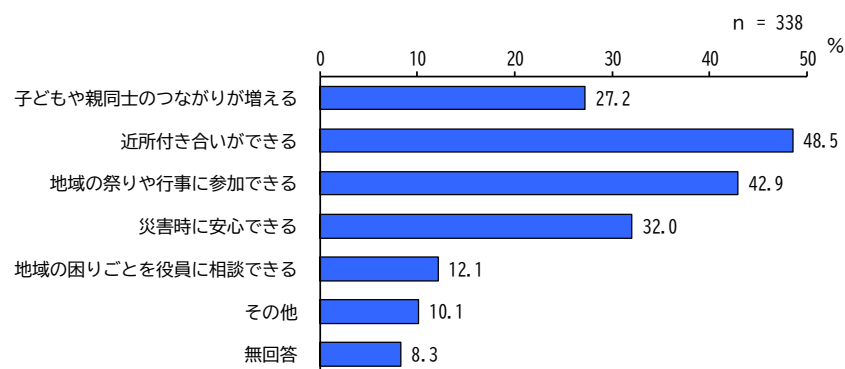


■ 加入している
■ 以前は加入していたが脱会した
■ 今は加入していないが今後加入したい
■ 加入していない
□ 無回答

2-2. 自治会に加入してよかったこと

問 自治会に加入してよかったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

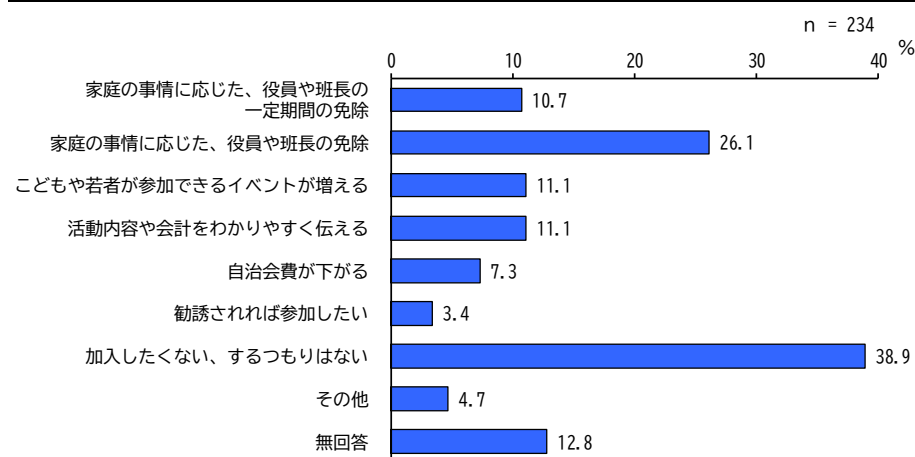
- 「近所付き合いができる」が最も高く 48.5%、次いで、「地域の祭りや行事に参加できる」が 42.9%、「災害時に安心できる」が 32.0%、「子どもや親同士のつながりが増える」が 27.2%、「地域の困りごとを役員に相談できる」が 12.1%となっています。



2-3. 自治会に加入したいと思う理由

問 自治会のどこが変われば加入したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

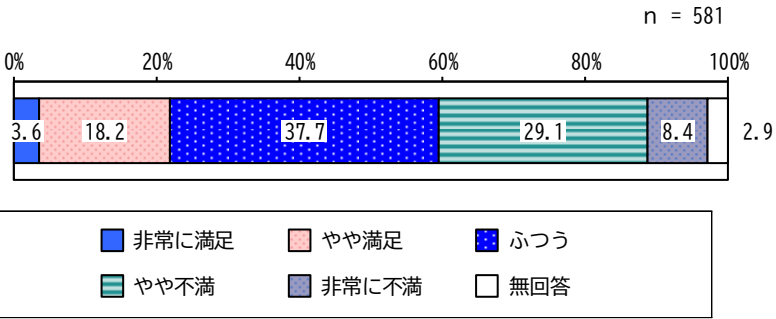
- 「加入したくない、するつもりはない」が最も高く 38.9%、次いで、「家庭の事情に応じた、役員や班長の免除」が 26.1%、「子どもや若者が参加できるイベントが増える」、「活動内容や会計をわかりやすく伝える」が 11.1%などとなっています。
- 年代別にみると、「30 歳代」を除いた年代で「加入したくない、するつもりはない」の割合が最も高くなっています。また、「30 歳代」では「家庭の事情に応じた、役員や班長の免除」の割合が最も高くなっています。



3. 公共交通全般について

問 豊山町のバスネットワーク(あおい交通(とよやまタウンバス、空港直行便)、名鉄バス、名古屋市営バス、きたバス(北名古屋市市内巡回バス)、こまくる(こまき巡回バス))の満足度についてお答えください。(〇は1つだけ)

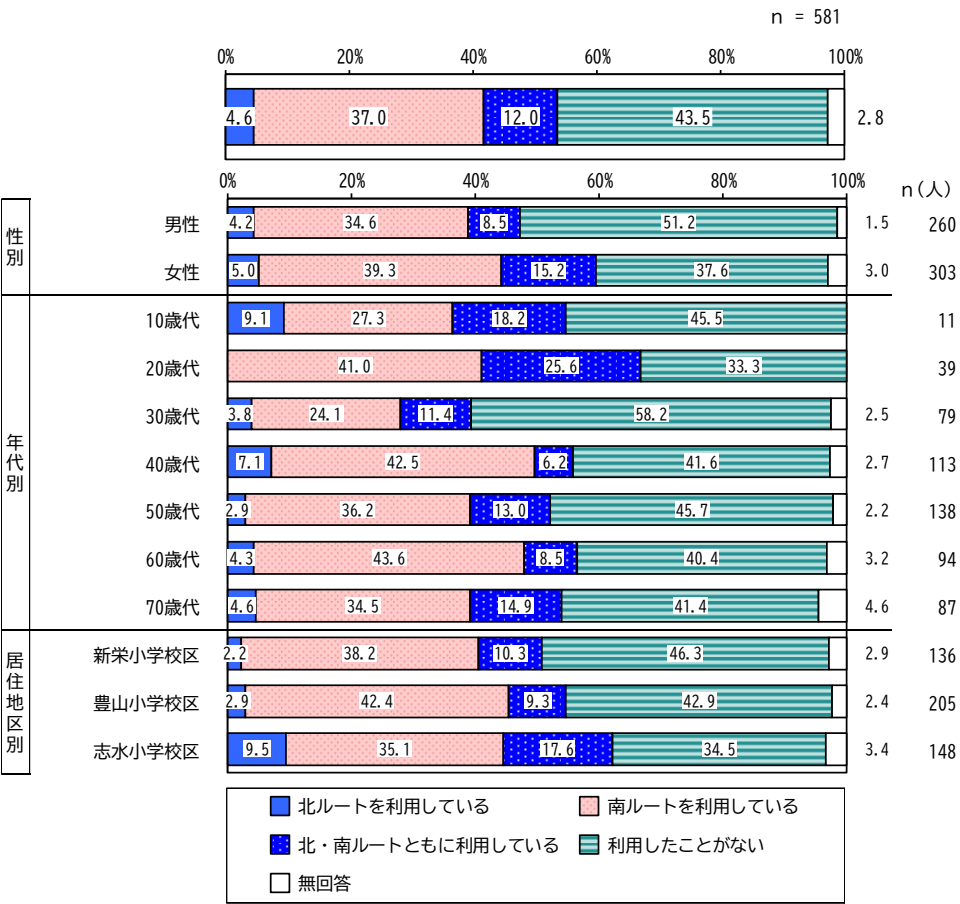
- 「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 21.8%、「ふつう」の割合が 37.7%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 37.5%となっています。



4-1. とよやまタウンバスについて

問 とよやまタウンバスを利用していますか。(〇は1つだけ)

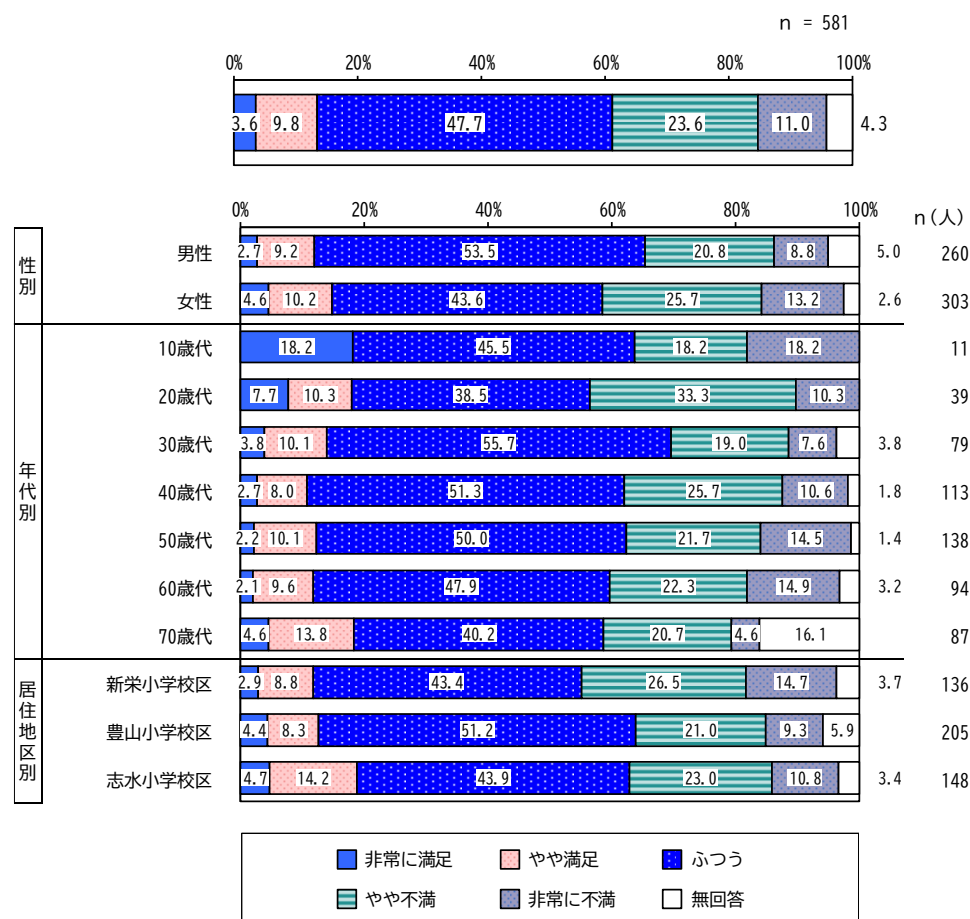
- 「利用したことがない」が最も高く 43.5%、次いで、「南ルートを利用している」が 37.0%、「北・南ルートともに利用している」が 12.0%、「北ルートを利用している」が 4.6%となっています。
- 居住地区別にみると、「志水小学校区」で「北・南ルートともに利用している」の割合が 17.6%と最も高くなっています。



4-2. とよやまタウンバスの満足度について

問 現在のとよやまタウンバスの満足度を教えてください。(○は1つだけ)

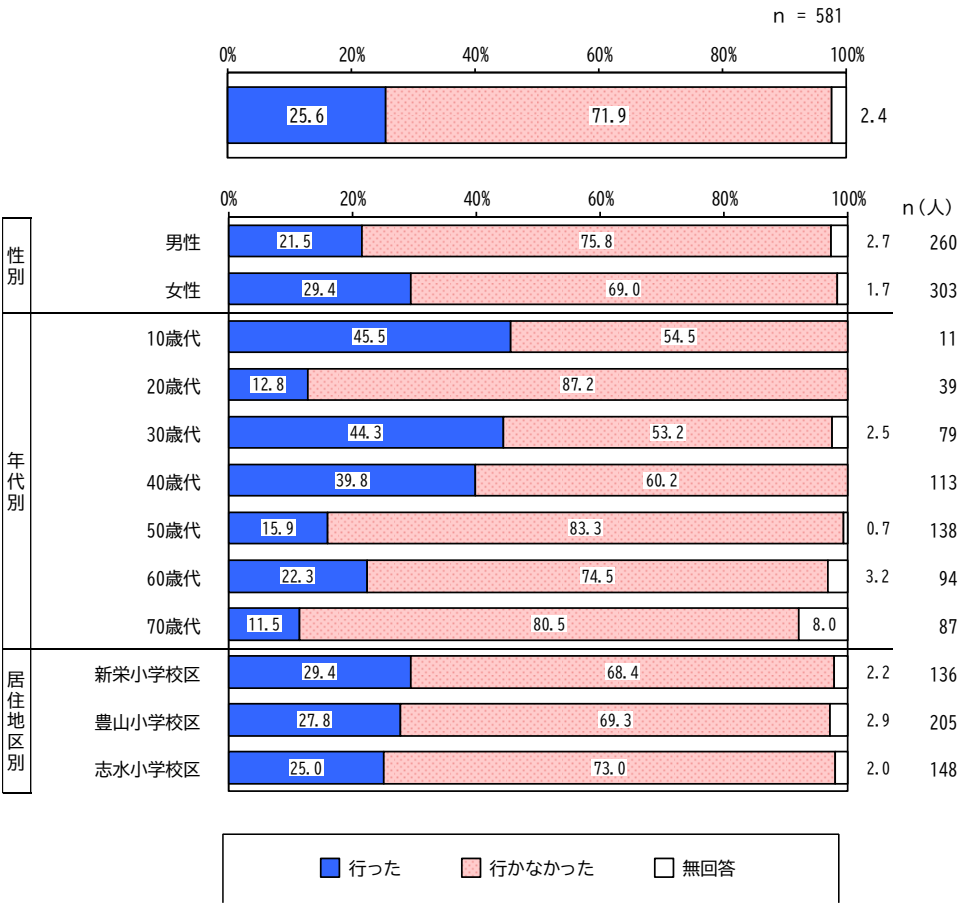
- 「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 13.4%、「ふつう」の割合が 47.7%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 34.6%となっています。
- 年代別にみると、“不満”の割合は、「20 歳代」が 43.6%と最も高くなっています。他方で、「70 歳代」が 25.3%と最も低くなっています。



5-1. 夏まつり「とよやまDEないと 2024」について

問 7月 27 日(土)に豊山グランドで開催した夏まつり「とよやまDEないと 2024」に行きましたか。(〇は1つだけ)

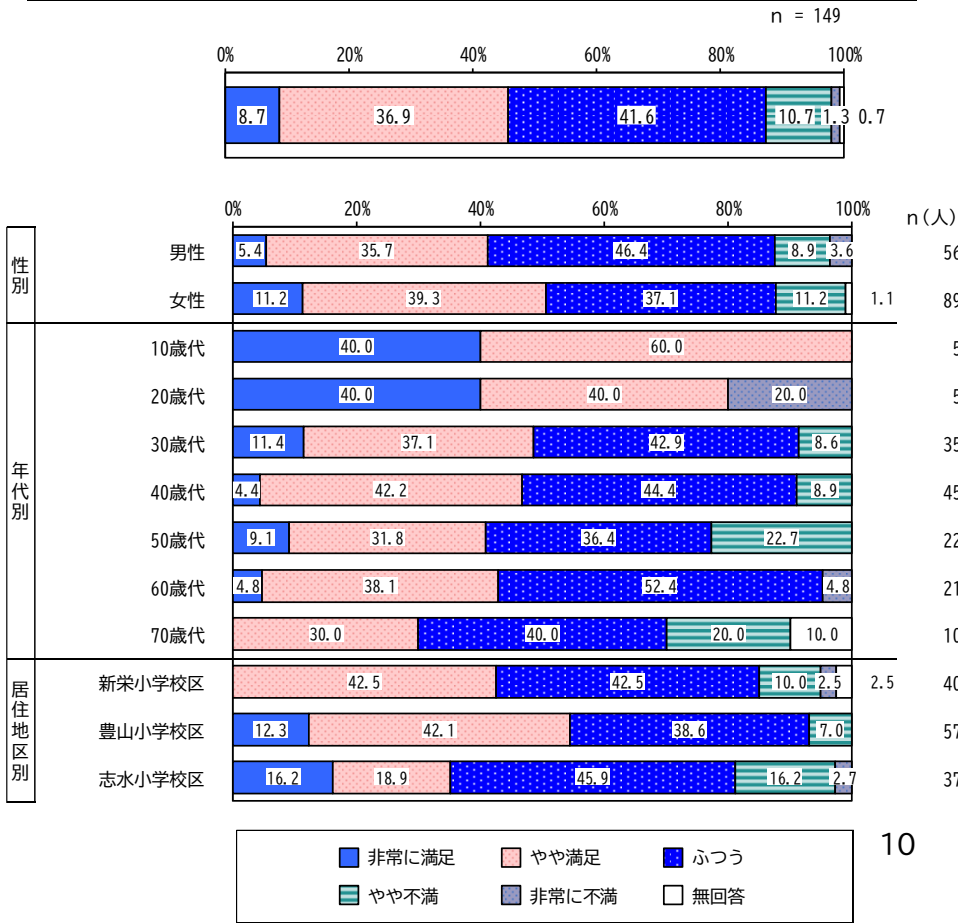
- 「行った」が 25.6%、「行かなかった」が 71.9%となっています。
- 年代別にみると、「行った」の割合は、「10 歳代」で 45.5%と最も高く、「30 歳代」で 44.3%、「40 歳代」で 39.8%となっています。
- 居住地区別にみると、「志水小学校区」で「行かなかった」の割合が高くなっています。



5-2. 「とよやまDEないと 2024」の満足度について

問 「とよやまDEないと 2024」の満足度について教えてください。(〇は1つだけ)

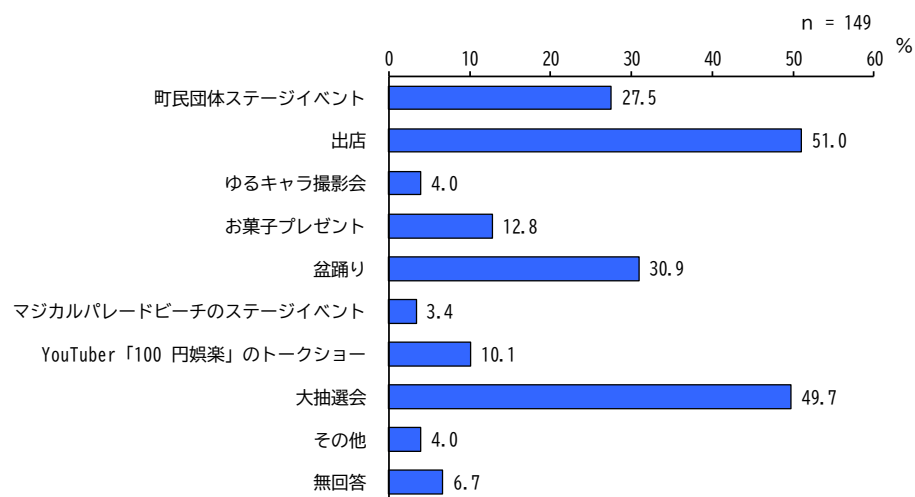
- 「非常に満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が 45.6%、「ふつう」の割合が 41.6%、「やや不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が 12.0%となっています。
- 年代別にみると、“満足”の割合は、「30 歳代」が 48.5%と最も高くなっています。他方で、「70 歳代」が 30.0%と最も低くなっています。



5-3.「とよやまDEないと 2024」の内容でよかったもの

問 「とよやまDEないと 2024」の内容のうち良かったものを選んでください。(あてはまるものすべてに○印)

- 「出店」が最も高く 51.0%、次いで、「大抽選会」が 49.7%、「盆踊り」が 30.9%、「町民団体ステージイベント」が 27.5%などとなっています。



(5)自由意見について

1. 令和6年度(上位 10)

順位	取組内容	件数
1	交通機関	33 件
2	子育て支援	25 件
3	スポーツ	23 件
4	道路	20 件
5	公園・緑地	18 件
6	防犯・交通安全	16 件
6	行政運営	16 件
6	高齢者福祉	16 件
9	土地利用	14 件
9	コミュニティ	14 件

1. 令和5年度(上位 10)

順位	区分	件数
1	交通機関	50件
2	行政運営	38件
3	土地利用	27件
4	子育て支援	24件
5	スポーツ	23件
6	防犯・交通安全	19件
7	コミュニティ	19件
8	公園・緑地	17件
9	道路	15件
10	環境衛生・循環型社会	14件
10	学校教育	14件